

指導の工夫（見逃せない一瞬）

「これ、豆腐のにおいがするんだよ」～専門家との連携～

刈谷市立富士松北幼稚園（愛知県）



子どもの姿

節分で豆まきをした翌週雨が続き、園庭に落ちている豆がふやけて大きくなっていった。5歳児は、ふやけた豆を集めてプリンカップに入れ、「どんな匂い?」「匂いがある!ねえ、お豆腐みたいな匂いだよ!」と、匂いに気付いて友達と匂いのかぎ合いをしていた。

節分にまくための豆をいただきに行った、近所の豆腐工場のことを思い出し「そうだ!これがお豆腐になるんだよね」「工場のおじさん言ってたもん」「どうやってなるのかな?」と不思議がっていた。「水に浸けておこよう!」「その後につぶしてみようか?」と、保育室の道具棚の上に水に漬かった豆入りカップがたくさん並んだ。

保育者の工夫

子どもたちの、大豆や豆腐への興味を、地域との関わりに繋げ、豆腐工場と連絡を取った。豆腐工場の方が実際に園に来て、豆腐作りの様子を見たり、作った豆腐を食したりする経験に繋げていった。



ポイント

豆まき後の雨により生まれた思いがけない子どもたちの気付きを大切に受け止めたことで、子どもたちに「豆腐を作ってみよう」という思いや目的が生まれました。専門家との連携を取ったことで、実際に豆腐ができる過程を知ったり味わったりし、興味をより深めることに繋がっています。

「チョウになるとこを見たい!」～ビデオの活用～

墨田区立立花幼稚園（東京都）



もうすぐ羽化しそうなさなぎが…。
(羽の模様が透けて見えてきて、お腹の部分の節が開いてくる)

保育者の工夫と子どもの姿

アゲハチョウのさなぎが9時の登園時刻直前に羽化を迎え、「さっき羽化したんだよ」と幼児に報告するということが続いた。

「先生だけ見たの!僕たちも見たい」という子どもたちの声に何とか応えようと、ビデオで撮影に挑戦。撮影できたことを知った子どもたちは、早速みんなでビデオ鑑賞。「動いた!」「もうすぐ、もうすぐ」と息をのんで見守る。羽化の瞬間を見られたことにも喜ぶ。

「こんなふうに入ってたのかー」「羽は最初くしゃくしゃだね」と感激する一方、羽化する瞬間、サナギの殻に何か黒っぽいものが残るのを見付け、新たな関心が深まる。

そしてこのビデオに感激した子どもは、「お母さんにも見せて。絶対」と言い、ついには降園後、親子鑑賞会をすることになった。



ポイント

羽化を楽しみに待っている子どもたちの「羽化の瞬間を見たい」という思いに応えるための保育者の工夫「アゲハカレンダー（参考P.22）」により、子どもたちは、大きな感動体験や新たな発見をしました。この体験から、より興味を深め、観察する力が高まっていることも読み取れます。